

建災防宮城県支部からのお知らせ

令和7年7月1日

令和7年度 墜落・転落災害撲滅キャンペーン

8月1日～9月10日

建設業における墜落・転落災害は、依然として事故の型としては最多であり、死亡災害の割合もなお3割を超える状況にあります。

建災防では、最も暑く過酷な作業環境となる期間に、墜落・転落災害の防止対策の実施について改めて周知徹底を図るため、標記キャンペーンを実施します。詳細は建災防本部HPをご覧ください。



第62回 全国建設業労働災害防止大会 in 兵庫

令和7年の全国建設業労働災害防止大会は、兵庫県神戸市において、10月2日、3日の二日間にわたり開催します。本大会では、「自然災害部会」を開催します。

開催日時 令和7年10月2日13:15～、3日9:00～

開催場所 初日：ワールド記念ホール(総合集会)

2日目：神戸国際展示場(専門部会)



詳しくは大会チラシをご覧ください

令和7年度 建災防宮城県支部代議員会が開催されました

6月2日、令和7年度建災防宮城県支部代議員会が宮城県建設産業会館で開催され、令和6年度事業報告及び決算報告、令和7年度事業計画及び予算案のご審議をいただき、ご承認いただきました。

来賓に小宅宮城労働局長、川越労働基準部長、寺脇監督課長、二木健康安全課長、高橋仙台労働基準監督署長をお迎えし、小宅局長からは、県内建設業の労働災害発生状況、熱中症対策等安全衛生の諸課題を踏まえ ご挨拶をいただきました。

(議案書は、本号に同封しております。ご査収ください)

『夏季休業のお知らせ』

8月9日(土)～17日(日)の間、当支部窓口を休業させていただきます。

図書・用品について、夏季休業前にお届けが必要な場合は早めのご注文をお願いいたします。



講習予定はこちら

建設業労働災害防止協会 宮城県支部

〒980-0824 仙台市青葉区支倉町2-48 宮城県建設産業会館5階

電話 022-224-1797 Fax 022-265-5604

熱中症の発生状況(令和6年度:確定値)～死傷者は過去最多！

厚生労働省 令和7年5月30日発表

(1) 職場での熱中症による死亡者及び休業4日以上の上業務上疾病者の数（以下「死傷者数」という。）は、2024年1,257人と、統計を取り始めた2005年以降最多となった。

(2) 2024年の死傷者数は、業種別でみると、製造業が235人、建設業が228人の順で多くなった。死亡者数については、31人のうち建設業が10人と最も多く発生。過去5年間に発生した熱中症の死傷者数（右図）についてみると、**死傷者数、死亡者数ともに建設業が最多**。死傷数中死亡者の割合を見ると全産業2.8%に対して建設業は5.6%で、重篤度が高いことがうかがわれる。

(3) 過去5年間に発生した熱中症の**時間帯別の発生状況**についてみると、いずれの時間帯でも発症しており、気温が下がった17時台や18時台以降に死亡に至るケースが少なからずみられるが、これらには、作業終了後や帰宅後に体調が悪化した事案が含まれている。

(4) 過去5年間の死傷者数については、**50歳代以上が全体の約52%**を占めており、死亡者数は、全体の約61%を占めている。一般に高齢者は、身体機能の低下等の影響により、加齢により熱中症を発症するリスクが高いことから、死亡災害に至る割合が高くなっていることが考えられる。

熱中症の症状に注意！死亡災害事例より

発生月	業種	年齢	① 気温（℃） ② 暑さ指数	(事案) 被災者は9時頃から土間打ちの作業のため、セメント等の袋を運搬する作業に従事していた。12時前、休憩室において、被災者が別の労働者に突然殴りかかり、奇声を上げ、その後痙攣を起こしたため、救急搬送された。搬送先の病院にて処置後、一旦帰宅した後、再び痙攣を起こし、別の病院に救急搬送されたが、搬送先の病院で死亡した。
2024年 7月	土木 工事業	40 歳代	① 32.1℃ ② 32℃ (WBGT)	

